
これは吸血忍者ですか？うんにゃ、墮天使だ 予告篇

猫科の獅子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

これは吸血忍者ですか？うんにゃ、墮天使だ 予告篇

【コード】

N9832X

【作者名】

猫科の獅子

【あらすじ】

この物語はとある『墮ちた者』の物語

(前書き)

注：この小説は中二病な学生の自分が授業中にふと思いついたものです。

なのでいつ投稿するかわかりませんし投稿しない可能性もあります。なんとなしに友達に見せたところ「とりあえず投稿しちゃえ」とのことで投稿しております。

何はともあれ、駄文ですが目を通していただけたらと自分は小躍りした後リンボーダンスするレベル(どんなレベル?)で喜ぶので御眼汚しになるでしょうが御目通しお願いします。

PS それと本編中の伏字の数があわねえぞゴラアと思う方もいるでしょうが仕様なのでスルーでお願いします。

カノモノノ運命ハココカラ終ワル

「頼まれて…くれるかな？」

「ええ、愚問ですよ、頭領」

タツターツノ任務カラカノモノノ八墮天シテシマウ

「なんで、なんでなんだよお！
はそんなことする奴じゃないのに！」

「はあ、メール。難しい事みたいに考えんなよ。お前はバカなんだからよ」

ソノ任務ハ簡単ナ筈ダツタ

「…。なぜ貴方がこんな事を…」

「簡単な事だよ。俺のけじめの為だ」

シカシ不幸八重ナリ会イ、モツレテイク

「さよならだ、」

「ああ、さよなら。サラス」

段々ト狂ツテイク運命ノ歯車

『大丈夫？』

「キミは…誰？」

狂ツタ歯車ハ元ニハ戻ラナイ

「アハハハハ、本当にキミは面白いね」

「うるせえよ、ネネ」

戻ラ無いガ故ニ加速スル

「フム、君と僕はとことん似ているね」

「あ？そりやどういう意味だ『夜の王』？」

ソシテ、其処カラ生マレ行クハ

「あら？どうしたんですか　さん」

「ん？ああ、少し昔のことを思い出していな。なんでもないよ、アリエル」

歪ナ様々ナ運命

「(ツンツン)一緒…遊ぼ?」

「うん?ああ、わかったよ。お姫様」

シカシ其処ニカノモノノ運命八存在シナカッタ

「クリスはねえ、いつか君を倒して最強になるんだ」

「ほお、それは面白い。まあ期待して待つてるよ」

何故ナラカノモノノ運命八既ニシテイタカラ

「おい !今度こそ遊べよな!しゃーなしだから遊んでやんよ!」

「はいはい、ありがとよ。ハルナ」

ダガ、ソレデモカノモノハ狂ウ

「なあ、さん。どうしたらそんなに強くなれるんだ?」

「ん?あゝあ、そうだな強いて言うなら自分の覚悟(譲れないモノ)を持つことだな。ま、アユムも頑張れば強くなれるさ」

運命八存在シナクテモ歯車八存在シ続ケルガ故ニ

「さん、あの女性どうすか!」

「お、いいな。特に胸が」

カノモノハ破壊スル。噛ミ合ワナイガ故ニ他の歯車ヲ

「さんは優しいですからね」

「いいや、そんなこたあーねえよ」

ソナ事ヲシテモ何モ生マレナイト云ウノニ

「さーん、あれなんてどう。可愛くない?」

「ああ、確かに可愛いな」

シカシソナ中カラ生マレルモノガ一ツダケアッタ

「にしても予想外なんだよね。君は冥界では会ったらもう駄目だとさえ言われてるぐらいだし」

「おいおい、随分ひどい言いようだな」

ソウ其処カラ生まれシハ

「いいのかい?彼女達に会わなくて」

「ああ、いいんだよ。悪役は^{アンチヒーロー}俺だけでいい」

墮天サさせられし者ノ運命

「さあ、築き上げよう。正史でさえ創り得られなかった私達の
の」を「

「うるせえよ、俺たちのモノガタリは俺が創る！」

彼の者名は

「待ってる！俺はお前を」

墮天使ルシファー也

「ぶっ殺す！！！」

A fallen angel does not
do death. Therefore, He continues
deceiving oneself and continues
wandering about.

《墮天使は死せず。故にカノモノは自らを欺き続け、彷徨い続ける。》

「ああ、そうだ。ユークリウッド。最後に君にいいことを教えてあげるよ」

『?』

「彼は、いや、『アレ』はまだ生きてるよ。」

『魔双騎士』や『不死身』アンチ・デスという今となっては『忌名』になっている名を持つ『アレ』がね。

ずっとずっと、暗い、そう僕が続べる夜よりも深く暗い闇の中で「!?!それはどういっつ!」

「おっと、ユークリウッド。迂闊に大きな声は出してはいけないよ。言葉の意味はそのままだよ。『アレ』は生きているんだよ。君が想像だにしないような場所で。」

まあ、あれが生きてるといっていいのかわからないがね…」

『どういっつ事…?』

「さあね。自分で考えな。どうやら僕にもお迎えが来たようだしね」

『?』

「そこまでだ!」

『「「「「「!?!?」「」「」「」』

「我等は『天界』の守護者、序列下位級天使だ!貴様らに世界への危険分子を観測した!大人しく拘束されてもらう!」

物語は始まる。破壊され いや、再動する。改変 他を巻き込み、世界を巻き込みながらも、着々と…

カノモノを歪ませながら…

Here cannot return any longer .
Were you Ready?
..OK.You cannot return any longer .

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9832x/>

これは吸血忍者ですか？うんにゃ、墮天使だ 予告篇

2011年10月28日03時13分発行